

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. C-19

**部門名：**地域とともにある学校実践部門 **エントリー名：**新潟県立小出高等学校

**活動名：**地域連携のキャリア教育 ～地域資源の積極的活用～

**解決すべき課題：**「特色あるキャリア教育の模索」特色あるキャリア教育を実践する上で、本校の「強み」を活かしたいと考えた。それは、地域資源（企業、病院、上級学校、地域の期待）がある、という点だ。この「強み」を活かし、ここ魚沼で、小出高校にしかできないキャリア教育を展開する。

**目標・方針：**地域資源の積極的活用

- ①地元企業と連携したキャリア教育講演会とキャリア教育ガイダンスの実施。
- ②地元病院、上級学校の協力により、特色ある「医療専攻」を実践。

**活動内容：**

**【キャリア教育講演会（写真①）、キャリアガイダンス（写真②）】：**創立 71 周年を迎える本校の多くの卒業生が地元企業で活躍している。そこで、地元で活躍する卒業生や企業から地元での働きがいについて講演をしていただき、働く意義の理解や地元へ貢献する意識を啓発する。

**【医療専攻（写真③）】：**「医療専攻」は、新潟県と魚沼地区の医療従事者の確保を目的として平成 26 年度に本校に設置された。医療分野の学習だけでなく、地元総合病院と上級学校からの絶大な協力を活かした体験活動が本校「医療専攻」の「強み」である。（資料）

**活動の成果：**地域に根付いた特色ある「キャリア教育」によって、生徒が地元へ目を向け始めた。

- ・キャリアガイダンス後の生徒アンケートでは、明らかに意識の変化が見られた。（グラフ①）
- ・「医療専攻」選択生徒の地元就職への意識はもともと高かったのだが、地域と連携した「医療専攻」の学習により、その意識がさらに高まった。（グラフ②）
- ・地域と連携した指導や「医療専攻たより」の発行（年 6 回）が、本校「キャリア教育」の周知につながった。

**アピールポイント（アイデアや工夫）：**

- ・地元企業、病院、上級学校と連携し、「キャリア教育」を特色あるものにできた。
- ・地域に貢献する人材育成は本校だけでなく、地域の願いであり、この実践がその第一歩となった。
- ・地域と連携することで、本校「キャリア教育」の指導内容を地域に発信できた。

【写真① キャリア教育講演会の様子】



【写真② キャリアガイダンスの様子】



【資料：医療専攻指導概要】

日時(予定)	内容
4月 19日(金)	医療専攻開講式+医療講演会①
16:20~16:50開講式	講師：魚沼市立小出病院長 布施 克也 様
16:50~17:50講演会	内容：「医療人をめざすみなさんへ」
7月 2日(火)	医療講演会②『難病支援』
14:00~15:30	講師：NPO法人新潟難病支援ネットワーク 副理事長 小池 亮子様 指定難病「視神経脊髄炎」の患者様 内容：難病とその支援、医療従事者ができること
8月 5日(月)	病院見学① 『テーマ 魚沼の最先端医療にふれる』
13:00~15:00	場所：魚沼基幹病院 内容：病院概要の説明・施設見学・医療講演会
7日(水)	病院見学② サマーセミナー2019 in Koide
9:00~16:30	小出病院 サマーセミナー参加 (テーマ別研修) 病院見学・体験学習・テーマ別講演会など
23日(金)	小出病院サマーセミナー振り返り
9:00~12:00	場所：小出高校⇒小出病院
10月 4日(金)	上級学校見学
13:40~16:30	場所：北里大学保健衛生専門学院 内容：学校見学、学生との座談会など
	医療講演会②『チーム医療とは』
	講師：北里大学保健衛生専門学院 保健看護科教員 佐藤 美恵子様 内容：チーム医療がどのように関わるかの具体的事例
3月 19日(木) 午後	医療専攻発表会 場所：魚沼市立小出病院

【写真③ 医療専攻の様子】



血糖値測定実習



在宅看護実習

【グラフ①：将来、地元企業を就職先として検討しようと思ったか】 【グラフ②：将来、勤務したい地域】

